

**国道298号 東京外かく環状道路(外環)
国道6号から主要地方道市川松戸線までの国道部
開通約1年後の交通状況と沿道環境のお知らせ**

記者発表資料

平成20年3月22日に外環（千葉県区間）のうち、国道6号から主要地方道市川松戸線までの国道部（国道298号）延長約1kmが2車線で開通しました。

このたび、開通約1年後における周辺道路の交通状況に関する調査結果をとりまとめましたのでお知らせします。

■ **開通区間の交通量は一日あたり約10,900台（2月24日調査）**

■ **並行する道路の交通量が減少。交通の流れが変わってきました。**

開通区間と並行する直近道路の1日あたり交通量が、松戸草加線で約10,100台減少（約42%）しました。

開通区間に周辺道路からの交通が転換していると考えられます。《資料1》

■ **交通量の転換に伴い走行速度が向上。**

開通区間と並行する直近道路の松戸草加線および市川松戸線で、走行速度が最大13km/h向上（開通前16.3km/hから開通後29.5km/hへ）しました。

《資料2》

平成21年4月16日

国土交通省 関東地方整備局 首都国道事務所

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、横浜海事記者クラブ、神奈川建設記者クラブ
千葉県政記者クラブ、松戸記者クラブ、市川市政記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 首都国道事務所

電話：047-362-4111（代）

地域広報官 かねこ金子 つよし剛 内線：205

計画課長 まるやま丸山 まさひろ昌宏 内線：261

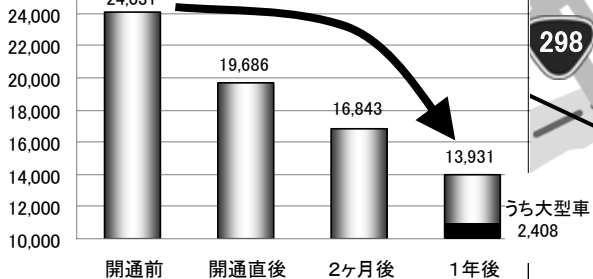
並行する道路の交通が減少

開通区間と並行する直近道路の1日あたり交通量が、松戸草加線で約10,100台減少、市川松戸線(上矢切)で約9,100台減少しました。また近隣の市川松戸線(下矢切)などでは、交通量がほぼ横ばいでした。

至 草加

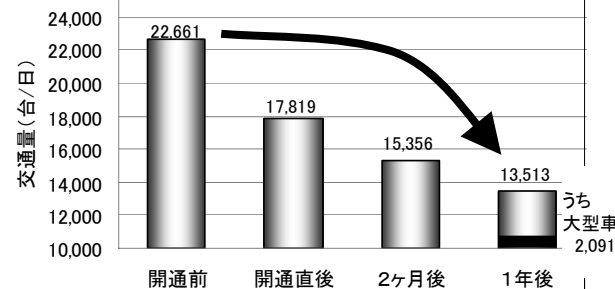
【(主)松戸草加線】

10,100台/日(約42%)減少



【(主)市川松戸線(上矢切)】

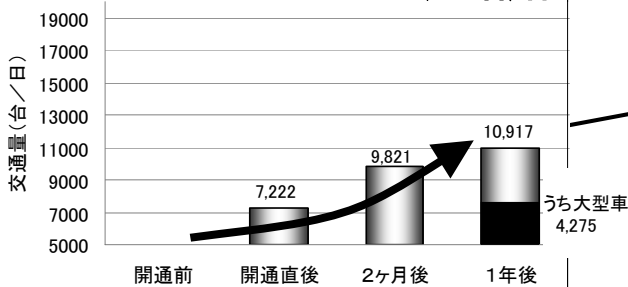
9,148台/日(約40%)減少



至 日本橋

【国道298号】

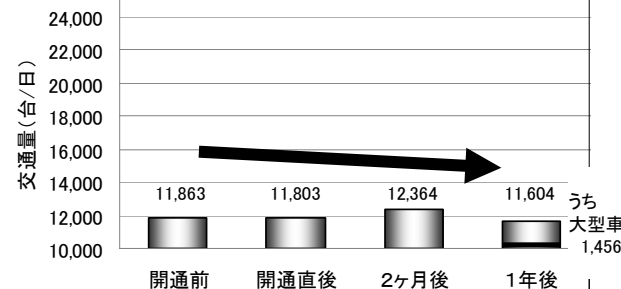
10,917台/日



松戸市

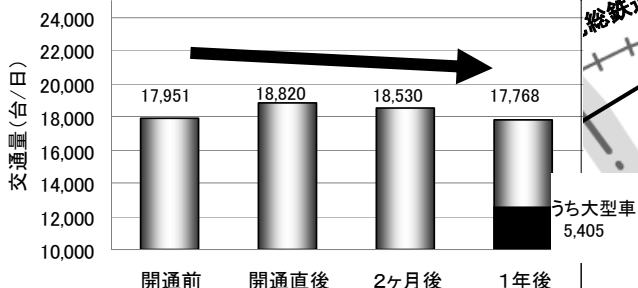
【とちのき通り】

259台/日(約2%)減少



【(主)市川松戸線(下矢切)】

183台/日(約1%)減少



至 国道14号

【調査日】

開通前 : H20年3月18日(火)
 開通直後 : H20年3月26日(水)
 開通2ヶ月後 : H20年6月4日(水)
 開通1年後 : H21年2月24日(火)

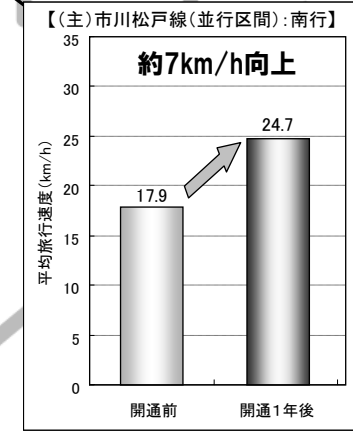
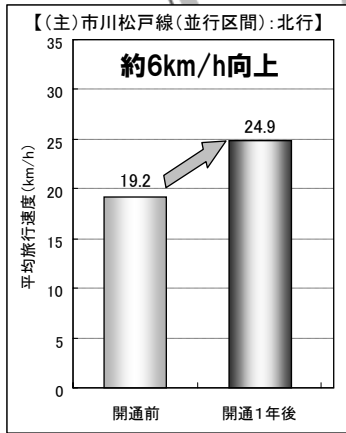
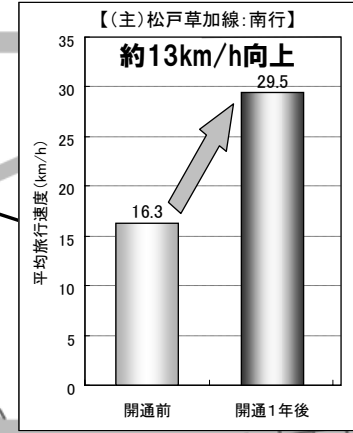
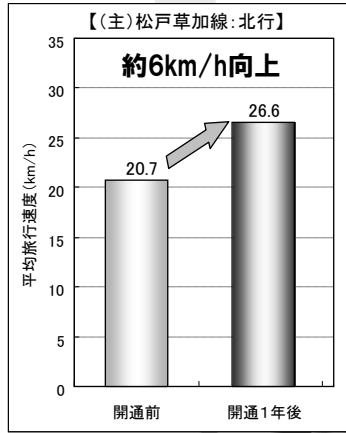
※増減台数は、「開通前」と「開通1年後」の比較



← 交通量(台/日)
 ← うち大型車の交通量(台/日)

交通量の転換に伴い走行速度が向上

開通区間と並行する直近道路の松戸草加線および市川松戸線で走行速度が約13km/h～6km/h向上しました。



【調査日】(プローブ調査)
 開通前 : H19年11月～H20年1月のうち平日5日間の平均
 開通1年後 : H20年7月～H21年2月のうち平日10日間の平均

